

平成 29年度学校評価報告

平成 29 年度学校評価報告について

1【教 職 員】

(1) 自己評価結果

※ ① よくできている ② できている ③ あまりできていない ④ できていない で評価

※ 判定：①と②を合わせた割合：【A】100%～76%，【B】75%～46%，【C】45%～21%，【D】20%

※ 今年度新たに追加した項目については、前年比、28年度は「—」の表記になっています。(回答：48人)

領域	評価の観点	評価項目	平成29年度					前年比	28年度	判定	
			①	②	③	④	①+②				
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	1	21%	54%	23%	2%	75%	-14%	89%	B
		学校評議員制度等を活用した学校運営の推進	2	4%	50%	42%	4%	54%	-23%	77%	B
		地域や関係機関と連携した安全な学校づくり	3	2%	81%	15%	2%	83%	+3%	80%	A
		中学校関係者への本校理解の推進	4	27%	58%	13%	2%	85%	+10%	75%	A
	生徒指導	生徒指導方針の確認と指導体制の推進	5	7%	58%	25%	10%	65%	-9%	74%	B
		学校いじめ防止基本方針に基づいた組織的な対応	6	20%	65%	13%	2%	85%	—	—	A
		生徒の内面の理解を図る指導の工夫	7	8%	63%	27%	2%	71%	-11%	82%	B
		生徒の自主・自律の精神を育む指導の工夫	8	4%	67%	23%	6%	71%	-23%	94%	B
		基本的生活習慣の育成	9	8%	61%	29%	2%	69%	-8%	77%	B
	進路指導	進路指導体制の充実	10	7%	50%	35%	8%	57%	-5%	62%	B
		職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	11	13%	69%	12%	6%	82%	-3%	85%	A
		主体的な進路選択能力の育成	12	13%	67%	18%	2%	80%	+7%	73%	A
		適切な進路情報の提供と継続した進路指導の実施	13	6%	56%	25%	13%	62%	-5%	67%	B
		キャリア教育を踏まえた職業指導の充実	14	13%	52%	33%	2%	65%	-10%	75%	B
	教職員の資質向上	実践的指導力の向上	15	10%	38%	44%	8%	48%	-14%	62%	B
		出張・研修等で得た情報の共有	16	6%	34%	52%	8%	40%	—	—	C
		計画性を持った研修の実施	17	15%	60%	25%	0%	75%	+2%	73%	B
	危機管理体制の整備	実効ある学校マニュアルの策定	18	8%	59%	33%	0%	67%	+2%	65%	B
		家庭・地域・関係機関と連携した危機管理体制の推進	19	8%	63%	27%	2%	71%	+28%	43%	B
		生徒に関する防犯教育の充実	20	8%	65%	25%	2%	73%	+4%	69%	B
		教員の実践的な研修・訓練	21	10%	61%	25%	4%	71%	+2%	69%	B
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	体験的・問題解決的な学習の展開	22	13%	63%	22%	2%	76%	-7%	83%	A
		生涯学習の視点に立った実践能力の育成	23	7%	65%	28%	0%	72%	-3%	75%	B
	基礎基本の定着	生徒の学力の把握と評価規準の設定	24	13%	57%	30%	0%	70%	+14%	56%	B
		学ぶ喜びや達成感が味わえる指導方法の工夫	25	11%	59%	30%	0%	70%	+1%	69%	B
	課題研究	教職員の協働体制の確立	26	11%	46%	39%	4%	57%	-5%	62%	B
		創意工夫を生かした実践の展開	27	9%	50%	37%	4%	59%	—	—	B
	個に応じた学習指導の徹底	評価方法の創意工夫	28	11%	46%	37%	6%	57%	+3%	54%	B
		指導形態の工夫	29	13%	63%	20%	4%	76%	+7%	69%	A
	課題教育	安全教育	実践的な安全教育への取り組み	30	20%	67%	11%	2%	87%	+4%	83%
人権教育		確かな人権意識の育成	31	13%	76%	11%	0%	89%	+12%	77%	A
地域貢献事業		地域貢献の推進	32	7%	74%	15%	4%	81%	+2%	79%	A
SPH事業の推進		「貿易人KOBÉ」の育成	33	17%	61%	15%	7%	78%	—	—	A

(2) 主な自由記述

※ 同じ内容のものはまとめています。

- ・ 基礎学力をある程度伸ばすために1年生初期に学び直しをした方がいいのではないかと考えます。
- ・ 検定について、補習で丁寧に見て頂いていますが、生徒が学校生活全般を充実させられるように時間のすみ分けをした方が、学校も活性化していくと思います。(1・2年生の補習は朝、放課後は部活等優先とか・・・。)
- ・ 生徒指導の基本方針がなく、学年に任せられているので、ある程度、基本方針を決めておいてほしい。
- ・ 学校の広報活動をもっとしっかりした方が良い。一部の教員しかできていない。学校の将来を考えるのであれば、職員全体で取り組むべきでは。広報委員会がもっと動くべきである。SPHも同じで、一部の教員の負担しかなっていない。生徒もそれによって伸びているかは疑問である。
- ・ ホームページのリニューアル。

(3) 判定C項目についての改善の方策

評価の観点	評価項目	自己評価		改善の方策
教職員の資 質向上	出張・研修等で得た情報の共有	16	C	<p>学年や分掌などの少人数単位で口頭による報告を原則とし、資料は共有する。ただし、全教職員で共有する必要がある情報は、職員打合せ時・職員会議で口頭により報告する。</p> <p>(1) 校務分掌での出張・研修会 職員打合せ時、部会、委員会で報告</p> <p>(2) 教科での出張・研修会 教科会で報告</p> <p>(3) 初任研</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容により、所属している学年会、部会、教科会、委員会で報告 ・ 教頭に報告

2【生徒】

(1) アンケート結果

※ ① その通りだと思う ② だいたいその通りだと思う ③ あまりそうは思わない ④ そうは思わない で評価

※ 判定 : ①と②を合わせた割合 : **【A】** 100%~76%, **【B】** 75%~46%, **【C】** 45%~21%, **【D】** 20%~0%

(回答:801人)

No	評価項目	平成29年度						前年比	28年度	判定
		①	②	③	④	空白	①+②			
1	本校には、他校にない特色がある。	58%	32%	6%	3%	1%	90%	-3%	93%	A
2	学校での各種の活動は、自主的に取り組んでいる。	17%	54%	23%	4%	2%	71%	+6%	65%	B
3	授業は、分かりやすいように工夫されている。	6%	46%	35%	11%	2%	51%	-8%	59%	B
4	共通教科(普通科)の力を伸ばすことができている。	4%	29%	49%	17%	1%	33%	+1%	32%	C
5	専門教科(商業科)の力を伸ばすことができている。	42%	42%	11%	3%	2%	84%	-2%	86%	A
6	家庭での宿題や課題の内容・分量は適切である。	15%	45%	26%	12%	2%	60%	-2%	62%	B
7	検定に向けての指導は、適切に行われている。	34%	47%	12%	5%	2%	81%	-3%	84%	A
8	本校の生徒指導の方針は共感である。	6%	39%	32%	21%	2%	45%	-1%	46%	A
9	生徒はマナーやルールをよく守っている。	17%	51%	23%	7%	2%	68%	+6%	62%	B
10	教師は生徒の悩みや相談にのってくれる。	22%	49%	20%	8%	2%	71%	+6%	64%	B
11	クラスでは互いに人権への配慮がある生活ができている。	25%	53%	15%	5%	2%	78%	+2%	76%	A
12	進路に関する情報は、よく提供してくれている。	29%	47%	17%	5%	2%	76%	-5%	81%	A
13	進学・就職するために必要な対策がしっかりしている。	28%	53%	13%	4%	2%	81%	-2%	83%	A
14	部活動は、活発で充実している。	25%	45%	19%	9%	2%	70%	-4%	74%	B
15	学校生活に必要な情報は、学年通信・ホームページ等を通して得られている。	14%	46%	27%	11%	2%	60%	-3%	63%	B
16	非常時に必要な体制や訓練がよくなされている。	12%	48%	29%	10%	1%	60%	+4%	56%	B
17	この学校に入学してよかったと思っている。	26%	48%	15%	9%	2%	74%	-1%	75%	B

(2) 主な自由記述

- ・ 情報提供が遅い（予定など）。
- ・ 生徒への指導が期間が長すぎるなど、不適切なことがある。
- ・ 生徒一人ひとりに合った指導をしたらもっと良くなると思いました。
- ・ 生徒の態度（マナー等）が悪い様に見える。学校生活で不快な思いをすることが多い。
- ・ 校則に不満はありません。
- ・ 授業のスピードが速すぎる。全クラスで統一してください。
- ・ 全員に分かるように、もう少し工夫をした授業を行ってほしい。
- ・ 授業、分かっている前提で話されるのは困ります。
- ・ 先生によって授業の進み具合、分かりやすさが全然違う。
- ・ 検定前ぎりぎりに勉強教えられてもわからない。
- ・ テスト前（1週間前）の部活動は禁止にしてほしい。
- ・ テスト期間中であっても部活動があるためテスト勉強を十分にすることができない。
- ・ 十分な休養がとれていないので無気力の状態が続いている。完全な休日を月に1・2回は必要である。
- ・ 部活動何時に終わるか不明、予定表をもらうのが遅い。
- ・ 校外学習を増やしてほしい。
- ・ 進学と経営それぞれしっかり考えてくれていて良いと思う。

3【保護者】

(1) アンケート結果

※ ① よくあてはまる ② だいたいあてはまる ③ あまりあてはまらない ④ ほとんどあてはまらない
⑤ よくわからない で評価

※ 判定 : ①と②を合わせた割合 : 【A】 100%~76%, 【B】 75%~46%, 【C】 45%~21%, 【D】 20%~0%

※ 今年度新たに追加した項目については、前年比、28年度は「—」の表記になっています。

(回答:528人)

評価項目	No	平成29年度							前年比	28年度	判定
		①	②	③	④	⑤	空白	①+②			
学校は適切に学習指導を行っている。	1	21%	57%	11%	3%	7%	1%	78%	+3%	75%	A
学校は適切に部活動の指導を行っている。	2	14%	46%	17%	7%	15%	1%	60%	+2%	58%	B
学校は適切に家庭学習の課題を出している。	3	14%	51%	17%	4%	13%	1%	65%	+5%	60%	B
学校は、適切に家庭と密接に連絡をとり、学習指導、生徒指導を行っている	4	9%	36%	29%	13%	12%	1%	45%	+3%	42%	C
学校は、生徒にわかる授業を展開するため、努力している。	5	10%	49%	15%	6%	19%	1%	59%	+6%	53%	B
学校は、基本的な生活習慣を確立するため、頭髪や服装、言葉遣いなどの指導を適切に行っている。	6	20%	54%	11%	5%	9%	1%	74%	±0%	74%	B
1人ひとりの生徒を大切にす姿勢で指導を行っている。	7	13%	48%	16%	6%	16%	1%	61%	±0%	61%	B
生徒は、本校での学校行事など高校生活全般を楽しんでいると感じ、明るく学校生活を送っている。	8	26%	52%	11%	5%	5%	1%	78%	-4%	82%	A
学校の学習施設や設備は適切に整えられている。	9	15%	50%	18%	6%	10%	1%	65%	+1%	64%	B
学校は、生徒・保護者が必要としている進路情報を提供している。	10	14%	54%	15%	5%	11%	1%	68%	+2%	66%	B
本校のラインネットやホームページにより、適切な情報が入手できる。	11	14%	50%	17%	5%	13%	1%	64%	+14%	50%	B
学校からの「学年通信」や「進路便り」などは、手元に届いている。	12	22%	37%	19%	15%	6%	1%	59%	—	—	B
検定に向けての指導は、適切に行われている。	13	28%	50%	9%	4%	8%	1%	78%	-2%	80%	A
大丸神戸店での販売実習や地域清掃活動など、地域貢献事業を行っていることを知っている。	14	43%	37%	7%	3%	9%	1%	80%	+1%	79%	A
P T A活動等を通し、学校行事や学校運営にPTAが協力する体制がある。	15	18%	46%	13%	4%	18%	1%	65%	-2%	67%	B

(2) 主な自由記述

- ・ 明るく元気な先生方で生徒にも密に携わって下さいます。良い学校です。
- ・ 先生方の指導は、とてもありがたいのですが言い方でとても子供達が泣くほど気持ちが落ち込んでいる子がいると聞きます。厳しく指導するありがたい面もあるのですが、その後のフォローをできればお願いできればありがたいです。子供達(今の)は、心が弱いので、別の先生でも良いし、親にでもいいのです。「こんなきびしい言い方をしましたが・・・本当はこう思っています。」的な。私自身は先生達のやさしさの厳しい指導だと思っています。子供達は、先生にきらわれていると、自分を悪く思う所が、最近の子は多く、親も口出しする人も今からもっと多くなると思うので・・・。
- ・ メールでの参観のお知らせなど、とても助かっています。保護者も食堂を利用出来高校生になるとなかなか学校に行く機会がないので嬉しいです。体育館、文化祭など子供がいきいきして、先生方のおかげと思っています。
- ・ 検定の年間予定は資料があるのでわかるのですが、申込み締切日も合わせて年間の一覧表をプリントして保護者にも配布して欲しかったです。
- ・ 制服のデザインを変えてみたらいかがでしょうか。
- ・ 規定では、黒・紺・白靴下は無地となっていますが、白ソックスの場合のみ若干のラインやメーカーのロゴが入ったものはいけないのでしょうか。
- ・ 中学校のスクールセーターをOKにしてほしい。
- ・ 県立高校にしては校則が厳しいと感じていましたが、子供にはこれくらいで良いと思っています。
- ・ 学習面以外の指導も引き続き厳しくよろしくお願い致します。
- ・ 学年便りの的なものが存在するかしないか不明で学校予定が分かりにくいです。
- ・ 毎月予定のわかる学年だよりがほしいです。予定が知りたいです。学校内の事がしりたいです。
- ・ 部活動のホームページが昔の記録ばかりで最近の成績が更新されていない。
- ・ 部活のメンバーの名簿が欲しいです。学年ごとに教室も違うので交流が少なく大会のことなどの話を聞く機会もないようです。大会については1年間の予定表をもらえたらありがたいです。
- ・ 部活動などの練習試合や大会の日程や場所、集合時間などの連絡が前日の夜にあり、急すぎて困ります。帰りのバスが無くなり帰り方が分からなく困る生徒さんもいました。改善をお願いします。
- ・ 試合が優先で、検定を受けられない時がある。
- ・ 土曜日、日曜日、祝日のどれもが部活動になり体が休めない。
- ・ 部活動での合宿も先生が熱心で感謝しています。
- ・ テスト期間中、一週間前、検定などの間は、部活動を休止してほしい。
- ・ 下駄箱が古い。鍵付きにしてほしい。教室にロッカーが無いのは不便。
- ・ 冷暖房の環境があまり良くないように思われます。音楽室や簿記室
- ・ トイレの改修をお願いします。
- ・ 生徒用のトイレが綺麗ではないと思います。清掃が行き届いてないように思います。
- ・ 勉強が理解できていない子に特に何もしてもらえないので、点数が悪かった子に対して、補習授業を行い、少しでもまわりに追いつき、次回のテストに少しでもプラスになるチャンスがほしいです。
- ・ 検定もたくさんとれ楽しく学校生活も送ることができ先生方には感謝しています。
- ・ 学校では友人に恵まれて楽しんでいます。

4【学校関係者評価】

平成30年3月6日(火)実施の学校評議員会において、学校評価報告について教頭より説明がなされた。評価の低かった項目についての説明やその項目への対応策、今回新たに追加された項目等の説明がなされた。以上を踏まえ、各評議員の方々からの質疑応答があった。

質疑応答内容

- (評議員)：学校の中のことは分からないが、外から見るとは何も問題がないように思える。特別指導に関しても、この地域の環境のよさも関係しているかもしれないが、昔に比べたら少ないと感じるし、おとなしいと感じる。そこが少し心配でもあるが、凄と思う。
- (校長)：地域から連絡があり怒られることもある。コンビニのイートインスペースで長居をしていることについて等、コンビニより頻繁に連絡があり、指導の方法についてよく考えながら対応している。
- (評議員)：コンビニではよくある光景だが、制服を着ていることにより連絡がしやすいのではないか？
- (校長)：それもあるかもしれない。ただ、うちの生徒は注意をすると素直に聞き入れるので注意はしやすい。教頭が行くとまるく収まるのがほとんど。服装に関しても就職・進学に不利になるほど乱れている子はいない。
- (評議員)：アンケート結果を見て、保護者でC判定だった項目(学校は、適切に家庭と密接に連絡をとり、学習指導、生徒指導を行っている)は保護者と生徒にも問題があると感じる。プリントなどがきちんと保護者に渡っていないことがほとんどで、予定などが把握しにくいのが現実。ホームページはあまり見ないので、メールはとてもありがたい。
- (校長)：全体として必ず連絡しなければいけないこと、重要なことに関してのみメールで連絡するようにしている(あまり頻繁だと多いとの指摘もあるので)。瑣末なものに関しては各学年が対応している(学年通信等)。
- (評議員)：冷暖房に関して、もう少し配慮できないのか。(クラスの人数によって設定温度を変化させたり、特別教室に冷暖房機を設置したり等)
- (校長)：県は冷暖房機設置には予算を割いたが、そのランニングコストについては考えていなかった。そのため、節約しながら、学校毎に全体での予算をやりくりしながら稼働させている状況。その為、特別教室(音楽室や簿記室)に冷暖房完備はかなり難しい。それよりも前に校舎の改修工事、特にトイレの改修工事が行われる予定になっている。
- (評議員)：ランニングコスト等の内情は保護者には伝わりにくい。誤解している保護者も多い。
- (校長)：県にもそのような意見は届いているようだが、学校が単独で決めることができるのは少ないので、県で予算を考えてもらわないと難しい問題。そんな中、本校は他校よりも設定温度を1度下げている(冷房)。ただ、生徒の思ったとおりの快適な環境にしてしまうと我慢のできない職業人になってしまう可能性もある。ちょうどいいバランスを模索しながら冷暖房に関しては稼働させていきたいと考えている。
- (評議員)：食堂は改修工事しないのか？
- (校長)：140周年で改修工事をしたかったが、叶わなかった。寄附も200万円を目標にしていたが1万円(1名)しか集まらなかった。